

あきたの りいかちと

VOL. 497
2017.11.25

「収穫の喜び」

今回の表紙は昨年度の「第17回美しく豊かな農村づくり写真コンクール」にて「棚田オーナー賞」を受賞した作品です。大きなお芋と子ども達の楽しそうな姿に、こちらも思わず笑顔がこぼれる素敵な作品ですね。今年度の写真コンクールの締め切りは12月26日です。詳しくはホームページよりご覧下さい。皆様のお気に入りの一枚を心よりお待ちしております！

撮影者：阿部 重助 様



イメージキャラクター
みどりちゃん

CONTENT 1 秋田県土地改良事業推進大会

CONTENT 2 第40回全国土地改良大会静岡大会

目次

CONTENTS

平成29年度秋田県土地改良事業推進大会	2	おらほの自慢つこ~来てけれ! 由利本荘市 (由利本荘市農林水産部: 遠藤 昇)	13
第40回全国土地改良大会静岡大会	4	ようこそ土地改良区へ (三種町土地改良区: 児玉 俊一)	14
農業農村整備の集い	5	随想 (内越土地改良区: 斉藤理枝子)	15
水土里キッズのわくわく探訪inよこて	6	前月号のお詫びと訂正	15
秋田県からの情報提供 豪雨災害の被害・復旧状況について	8	連合会日誌	15
男鹿市安全寺「稲刈り&サツマイモ掘り体験」を実施	9	水土里レポーターによる写真投稿 (飯田川土地改良区: 山内 忍)	16
「水土里の野菜倶楽部・学童の農業体験」を実施	9	平成29年秋の叙勲受章者発表	16
第140回秋田県種苗交換会 協賛事業「農業農村整備フェア」	10	会員だより	16
金足農業からインターンシップ	10	リレー感想文 (大館市二井田真中土地改良区: 菅原 恵里子)	16
多面的機能支払交付金全国事例研究会の開催	11	編集後記	16
土地改良相談Q & A	12		



平成
29
年度

秋田県土地改良 事業推進大会

—農業農村整備事業の予算獲得に向けて—

11月1日(水)、由利本荘市文化交流館カダーレで第140回秋田県種苗交換会の協賛行事として、本会主催による「平成29年度秋田県土地改良事業推進大会」が会員及び関係者など約1,080名のご出席を頂き開催された。



▲挨拶をする高貝会長

大会では、高貝久遠会長が「収益性の高い農業を確立していくためには、各種園芸施策と連携しながら産地づくりと一体となったほ場整備を積極的に進め、生産コストの縮減と複合型生産を可能とする生産基盤を整備するとともに、農地中間管理事業等を活用し、担い手への農地の集積・集

約化を促進することが極めて重要である」と挨拶した。

次に、土地改良功績者表彰と21世紀土地改良区創造運動表彰が行われ、5団体8個人が表彰された。由利本荘市協賛会長の長谷部誠市長から歓迎のことばをいただいたあと、御来賓の皆様を代表して、秋田県知事(代理：佐藤暢芳農林水産部次長)、東北農政局長(代理：國井聡農政局次長)、秋田県議会の鶴田有司議長、そして種苗交換会の船木耕太郎会頭から御祝辞を頂戴した。また、議事に入ると、男鹿東部土地改良区の鈴木清理事長を議長とし、秋田県農林水産部農地整備課能見智人課長による「秋田県農

業農村整備事業の現状報告」に続いて、にかほ市土地改良区伊藤理事長が大会決議を読み上げ、満場一致で採択し閉会した。



▲鈴木議長



▲現況報告をする能見課長



▲大会決議を読み上げる伊藤理事長



表彰された団体・個人は次のとおり。

秋田県土地改良功労表彰

【知事表彰】

◆団体

昭和土地改良区(理事長 南都 武男)

秋田県能代地区土地改良区(理事長 今野 清孝)

◆個人

判 田 勝 補(大仙市大曲土地改良区理事長)

石 田 誠 孝(大館市土地改良区事務局長)

柴 田 清 徳(秋田県雄物川筋土地改良区事業課長)



秋田県土地改良事業功績者表彰

【会長表彰】

荻 沢 誠 作 (三種町土地改良区副理事長)
長 坂 一 二 (秋田市上新城土地改良区理事長)
猪 股 則 雄 (由利本荘市土地改良区理事)
藤 井 洋 一 (秋田県仙北平野土地改良区事務局長)
因 幡 文 夫 (秋田県南旭川水系土地改良区副理事長)



秋田県21世紀土地改良区創造運動表彰

【県知事賞】

由利本荘市土地改良区 (水土里ネット由利本荘市)
理事長 正 木 正 一

【奨励賞】

三種町土地改良区 (水土里ネットみたね)
理事長 成 田 和 保
潟上市天王土地改良区 (水土里ネット天王)
理事長 鈴 木 美 喜 雄



大会決議

- 1 農業農村整備事業は、強固な農業生産基盤の確立と農村地域の安全・安心を確保するうえで極めて重要な施策であることから、平成30年度当初において、地域の強い要望に十分応えられる規模の予算を確保すること
- 1 農地の大区画化・汎用化と担い手への農地集積・集約化を一層推進するため、改正土地改良法による農地中間管理機構と連携したほ場整備事業について、地域の状況に応じて柔軟に対応できる施策を講ずること
また、高収益作物の生産拡大や複合型生産構造の確立を図るため、園芸施策とほ場整備等の一体的な実施を推進するための支援を充実すること
- 1 農村地域の国土強靱化を図るため、ため池・用排水路などの農業水利施設について、大規模な自然災害に対応した防災・減災対策や長寿命化を計画的、かつ着実に実施するための支援を充実すること
- 1 農業・農村の有する多面的機能が今後とも維持・発揮されるよう、日本型直接支払制度の円滑な推進のために、農業者等が取り組みやすい制度にするとともに、安定的な予算の確保を図ること

平成29年11月1日

秋田県土地改良事業推進大会

第40回

全国土地改良大会静岡大会

豊かな水土里を

土地改良が創る

“ふじのくに”で語ろう



挨拶をする二階俊博全土連会長



土地改良応援講演を行う
工藤夕貴さん

そのため我々は『闘う土地改良』を続けながら、前進して行かなければならない。大会や事業視察を通じて、静岡県の農業農村に果たしてきた役割を肌で感じ、改めて我々に課せられた使命の重要性を認識していただきたい」と呼びかけた。

また、川勝平太静岡県知事と大沼明穂沼津市長が歓迎のことばを、谷合正明農林水産副大臣、進藤金日子参議院議員（全国土地改良事業団体連合会会長会議顧問）などが祝辞を述べた。

同じく行われた「土地改良事業功績者表彰」では、秋田県関係として男鹿東部土地改良区の鈴木清理事長が農村振興局長表彰を、昭和土地改良区の南都武男理事長が全国土地改良事業団体連合会長表彰をそれぞれ受賞した。また、農林水産省農村振興局の室本隆司次長による基調講演、静岡県の優良事例紹介、工藤夕貴さんによる土地改良応援講演、大会宣言の読み上げなども行われ、本会の高貝久遠会長も、全土連の副会長として次期開催の宮城県へと大会旗の引き継ぎを行った。

なお、第41回全国土地改良大会は、“先人の意思を受け継ぐ「伊達の地」に 水土里の絆 復興の歩み”をテーマに、平成30年10月16日に宮城県での開催が決定している。

10月25日（水）、「第40回全国土地改良大会静岡大会」が静岡県沼津市のふじのくに千本松フォーラム（プラザヴェルデ）で開催され、全国から参加した関係者約4,200名が一同に会し、農業・農村の重要性とそれを支える土地改良事業の役割を再認識した。

式典は、静岡県土地改良事業団体連合会の伊東真英会長の開会挨拶に続き、全国土地改良事業団体連合会の二階俊博会長が主催者挨拶を行い、「現在、来年度の予算編成が進められているが、来年度は16年振りに改正土地改良法を基軸に、新たな展開を図る大きな節目の年となる。これを実りあるものにする



大会宣言を述べる横山泉さん



鈴木理事長（農村振興局長表彰）



南都理事長（全土連会長表彰）



宮城県へ大会旗を引き継ぐ高貝副会長（本会会長）